

## 海田小学校教育目標

## 夢への挑戦「自ら学び 自ら伸びる」

## めざす児童像

聞いて 考えて 行動できる子ども  
 自他を大切にできる子ども  
 目標をもち ねばり強く取り組む子ども  
 体力づくりに励む子ども

## 本年度重点目標

## 確かな学力の定着

- ・既習事項を活用して学習する。
- ・基礎基本の定着と活用力の向上を図る。
- ・無解答率0をめざしてあきらめない学習。

## 豊かな心の育成

- ・自尊感情の育成・自己肯定感を高める。
- ・あいさつ日本一をめざす。
- ・共感的人間関係の育成

## 体力・耐力の育成

- ・新体力テストの効果的な活用を行う。
- ・外遊びの奨励
- ・体育の授業改善を行う。
- ・欠席0に向けた取組
- ・生活リズムカレンダーの効果的な活用

## 評価項目5

生活リズムを整えて元気に学校へ来ることができる

## 評価指標

一年間欠席3日以内の児童80% (※インフルエンザなど出席停止は欠席日数に含めない)

## 自己評価点

4

具体的方策	成果 (○) と課題 (▼)	改善策
○「欠席0賞」「準欠席0賞」の取組を実施。	○児童も保護者も欠席0を目指しており、学校へ来る事への意欲が高まっている。	・9月1日に、1学期の欠席0賞と準欠席0賞を掲示する。
○児童が生活リズムの大切さについて考える場面を実施	○睡眠の大切さについて掲示をして、啓発することができた。 ▼さらに、児童への生活リズムの大切さについて取組をする必要がある。	・9月の保健指導で睡眠について指導する。 ・保健委員会の児童の活動で全校へ呼びかけていく。
○重点課題を決めた、生活リズムカレンダーの取組を実施。	▼5月の生活リズムカレンダーでは、「睡眠」に重点課題を決めて実施したが、A判定の児童が65%程度であり、まだまだ意識の低さを感じた。	・生活リズムカレンダーの実施の前の朝会等で、全体の結果について児童に周知し、目標を明確にして取り組む。

具体的方策	成果（○）と課題（▼）	改善策
<p>○全児童が登校した日に放送、掲示等で児童に知らせ、児童への意欲付け。</p> <p>○手洗い・窓開け・うがいなど感染症予防の取組実施</p>	<p>▼長期欠席の児童があり、全校児童が登校することが難しい状況にある。</p> <p>○感染症流行時期に合わせて、保健委員会による放送や換気の確認を行うことにより児童と職員の意識を高めている。</p> <p>○換気の啓発により昨年度のインフルエンザの罹患数を減少させることができています。</p> <p>○熱中症予防として、休憩時間に帽子をかぶることや水分補給について啓発したことで、予防できた。</p>	<p>・全校児童登校が難しい現状なので、昨年度と比較して欠席が少ない月には、全校で喜びを共有できるようにしていく。</p>

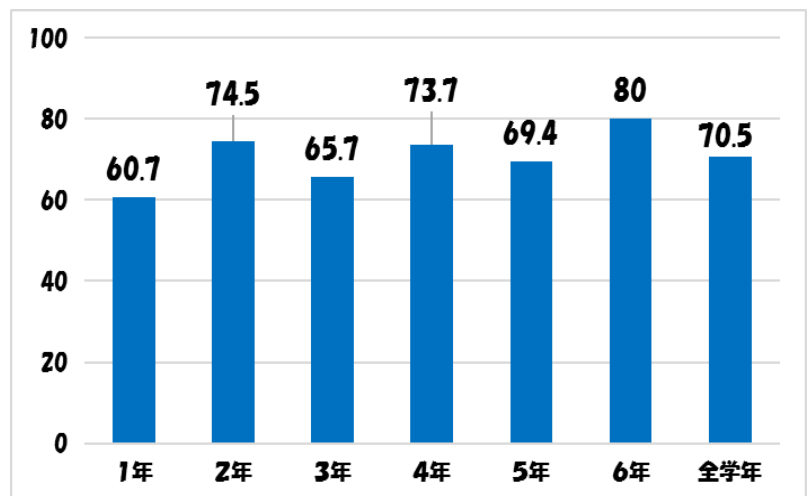
## 評価資料

### 【1学期欠席0の児童】

	1学期	
	児童数	割合
1年	34	60.7%
2年	35	74.5%
3年	44	65.7%
4年	42	73.7%
5年	50	69.4%
6年	48	80.0%
全学年	253	70.5%

7月20日現在

昨年度・・・277名  
(75.3%)

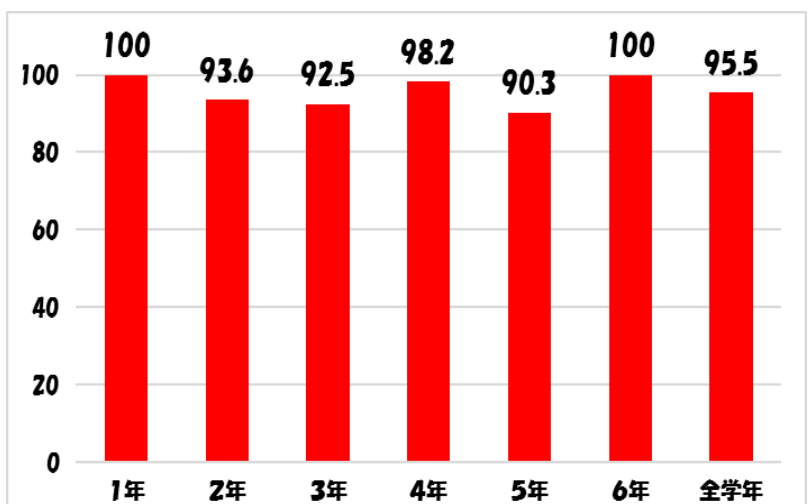


### 【欠席3日以内の児童】

	1学期	
	児童数	割合
1年	56	100%
2年	44	93.6%
3年	62	92.5%
4年	56	98.2%
5年	65	90.3%
6年	60	100%
全学年	343	95.5%

7月20日現在

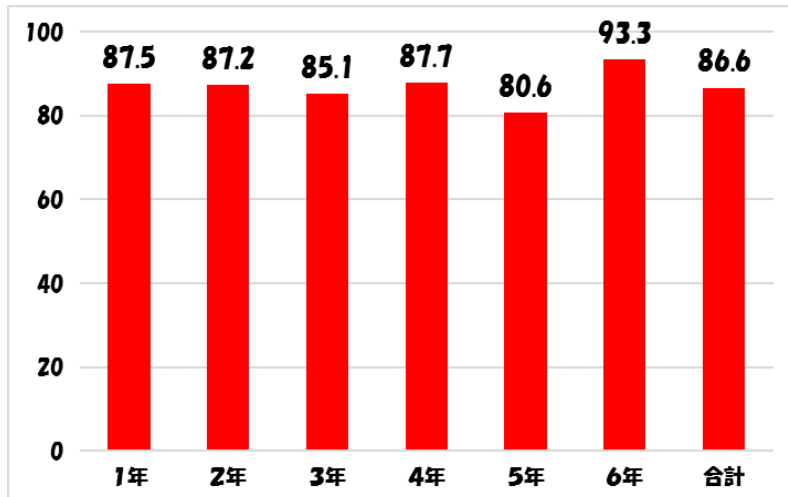
昨年度・・・355名  
(96.5%)



## 【1学期欠席1日以内の児童】・・・年間で欠席3日

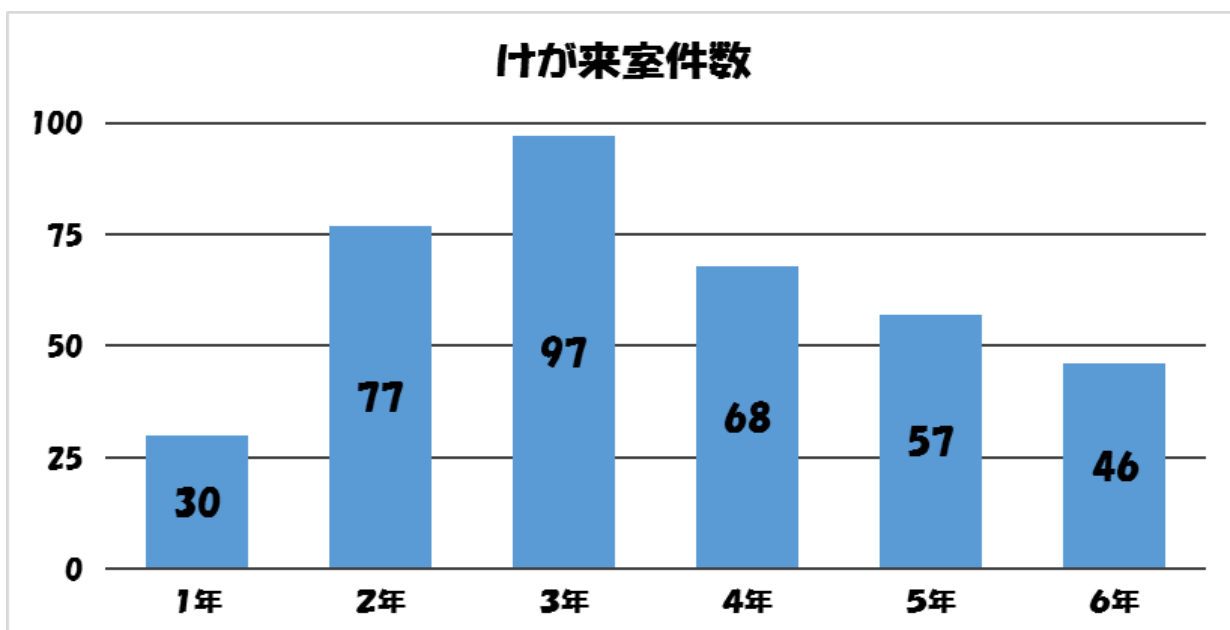
	1学期	
	児童数	割合
1年	49	87.5%
2年	41	87.2%
3年	57	85.1%
4年	50	87.7%
5年	58	80.6%
6年	56	93.3%
全学年	311	86.6%

7月20日現在



## 【1学期のけがの様子】

学校の管理下で起きたけがで、受診した件数・・・1学期 10件  
(昨年度 8件)



※ 3年生のけがの件数が多い。特に教室でのけがが多く、屋内でのルールを確認し、指導していく必要がある。

※ けがの予防には引き続き取組を続けていく必要がある。特に休憩時間、運動場での遊び方・遊ぶ場所について指導していく必要がある。